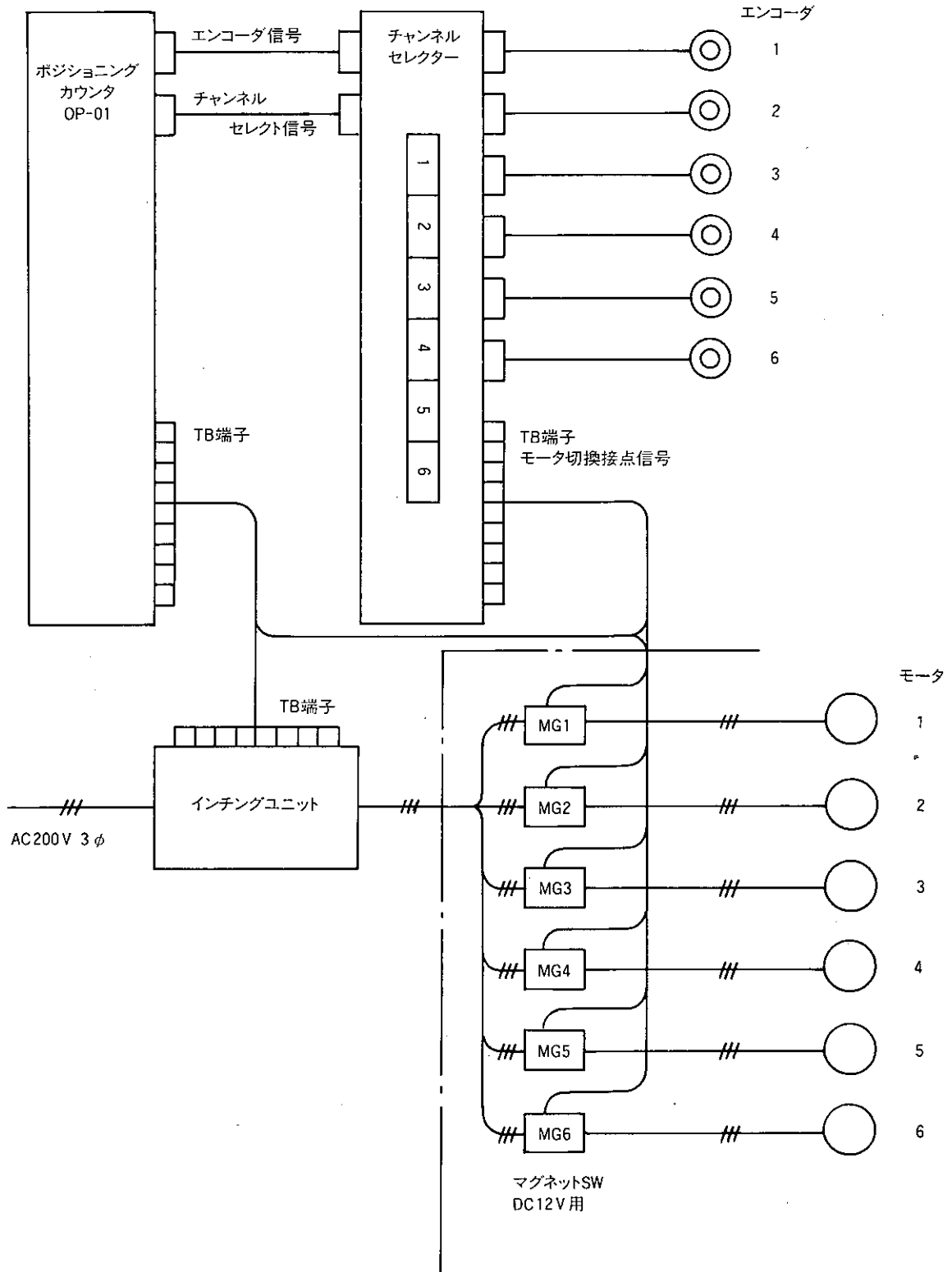


# 11. チャンネルセレクター接続図




## 6. 外部チャンネルセレクトについて

外部チャンネルセレクトは、DPS3のSW5の切換えにより2種類の使い分けが出来るようになっております。

### 6-A) ファンクションデータ共通時

あらかじめ最大16種類の目標値を設定しておき、デジタルスイッチ等によりいずれかを選択し、位置決めを行いたい場合は、DPS3のSW5をOFF（ファンクションデータ共通）にします。この時、現在値カウンターの値、インテグレーションテーブルのデータ、ファンクションデータ等すべて共通となりますが、目標値だけ単独に最大16個まで設定する事が出来ます。設定方法は、外部チャンネルセレクト信号（4bit 16進）により設定するチャンネルNo.を指定します。

（注） 指定したチャンネルNo.はLEDに表示されません。次に目標値をテンキーより入力し、を押します。この時、目標値を記憶すると同時に位置決め動作も行います。


次のチャンネルを指定し、同様に目標値を設定します。

以上の繰り返しにより各チャンネル毎に目標値を設定して下さい。

以後は、デジタルスイッチによりチャンネルを指定するだけで目標値を呼び出す事が可能となり、スタートスイッチを押すだけで位置決めが出来ます。

### 6-B) ファンクションデータ個別時

オプションのチャンネルセレクターを利用し、6軸までの多軸位置決めを行う場合は、DPS3のSW5をON（ファンクションデータ個別）にします。この時、現在値カウンターの値、インテグレーションテーブルのデータ、ファンクションデータ、目標値等すべて単独となります。従って、目標値の設定、ファンクションデータの設定、インテグレーションテストによるインテグレーションデータの作成等すべて各軸毎に行う必要が有ります。

又、位置決め動作を行う場合もセレクターのスイッチにより動かしたい軸（チャンネル）のボタンを押し  を押すと指定された軸の位置決めが行われます。

次に、他の移動させたい軸を選択すると、目標値表示には選択された軸の目標値が、又、現在値表示にはその軸の現在値が表示されます。

15. セレクターユニット外型図

